



緊急「戦略的な料金施策」について

当社としては、今後の需要回復期に向けて、「国際拠点空港」および「国際貨物ハブ空港」としての機能強化を推進するために、着陸料や施設賃料について、以下のような戦略的な料金施策を緊急に講じることとしました。

I. 「国際拠点空港」としての機能強化に資する施策(着陸料)

○国際線増量割引の拡大

概要：国際線増量割引に関し、09年冬スケジュールにおいて、現行の割引率30%を80%に拡大する。09年冬スケジュールから10年冬スケジュールまでの約1年半適用。

※新規就航については、関西国際空港全体構想促進協議会(促進協)の実施する新規就航奨励金制度(関空の着陸料の20%分を支援)を併用すれば、一定期間は着陸料が実質無料となる。

○大型機材を運航している航空会社に対する着陸料割引の創設

概要：航空機の200トンを超える部分について、国際線着陸料単価を現行の1トン当たり2,090円から1,000円に引き下げる。09年10月から10年3月までの6ヶ月間適用。

II. 「国際貨物ハブ空港」としての機能強化に資する施策(施設賃料)

○「関空物流拠点化促進制度」の創設

概要：ハブ化、物流拠点化を図ることを目途として、一定面積以上の物流施設を新設・増床する契約を09年度中に行う場合、当該新設・増床部分に係る賃料について一定期間の大幅割引を行う。

※上記施策については、国への届出・認可が必要な項目もあり、今後変更があり得る。

